

※事務事業コード／ 0108010103

平成 23 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 080101土木総務費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード
事業名	03道路整備事務事業						1213
目的 (成果)	道路整備課での事業実施に係る必要諸費の予算執行。						
内容 (概要)	道路整備課での事業実施に必要な諸費 (消耗品費、公用車燃料代、積算システム賃借料、各種団体への負担金等)の予算執行。						

■事業費 (単位:円)

		平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 予算				
事業内容		公用車等燃料 3263L 積算システム クライアント5台	公用車等燃料 2982L 積算システム クライアント5台	公用車等燃料 3420L 積算システム クライアント5台	【特記事項】			
	財源内訳							
	国庫支出金							
	県支出金							
	市債							
	その他							
	一般財源	25,788,124	3,603,789	3,407,000				
	計	25,788,124	3,603,789	3,407,000				
歳出内訳	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	うち臨時分	
	09 旅費	19,000	09 旅費	4,000	09 旅費	6,000		
	11 需用費	675,825	11 需用費	721,317	11 需用費	773,000		
	12 役務費	331,109	12 役務費	258,584	12 役務費	256,000		
	14 使用料及び賃借料	2,507,738	14 使用料及び賃借料	2,505,888	14 使用料及び賃借料	2,264,000		
	19 負担金、補助及び交付金	92,420	19 負担金、補助及び交付金	91,200	19 負担金、補助及び交付金	92,000		
	23 償還金、利子及び割引料	22,153,232	23 償還金、利子及び割引料		23 償還金、利子及び割引料			
	27 公課費	8,800	27 公課費	22,800	27 公課費	16,000		
	決算額計	25,788,124	決算額計	3,603,789	予算現額計	3,407,000		
(参考)	H21当初予算額	3,839,000	H22当初予算額	3,907,000	伸び率(%) 対・決	-5.5	対・予	-12.8
人件費	職員人件費 人工		職員人件費 3.4 人工	27,495,800	職員人件費 1.5 人工		12,070,500	
総事業費	歳出+職員人件費	25,788,124	歳出+職員人件費	31,099,589	歳出+職員人件費		15,477,500	

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	予算の執行率	%	支出済額／予算額	目標	100	100	100
				実績	99.21	92.24	
成果指標	予算の執行率	%	支出済額／予算額	目標	100	100	100
				実績	99.21	92.24	

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
事業実施に係る必要諸費である。	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方策

課題	事業実施に係る必要諸費ではあるが、予算の縮減に努める必要がある。
次年度における対応方策(改善方策)	積算システムの賃借料の見直しを行う。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	その他の予算についても見直しを行っていく。

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	山本 恵美 担当課名 道路整備課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	予算の縮減に努める。

■二次評価【部長評価】

部長名	大川 博 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認

※事務事業コード／ 0108020203

平成 23 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	○無 ●有 (平成 年度～平成 23 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 080202道路橋梁新設改良費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画 コード 1212
事業名	03まちづくり交付金事業(霞ヶ浦中心地区)						
目的 (成果)	市の中心市街地やJR神立駅と霞ヶ浦中心地区を結ぶ幹線道路の舗装補修及び県道牛渡・馬場山・土浦線のバイパス的機能を果たす市道整備を行い西成井地区の狭隘解消と通過交通の分離による交通の円滑化、歩行者の安全確保を図る。						
内容 (概要)	道路新設工事及び道路舗装補修工事。						

■事業費 (単位:円)

	平成21年度 決算		平成22年度 決算		平成23年度 予算			
事業内容	市道㊦0109号線舗装補修工事L=400m 市道㊦2583号線道路改良工事L=206m		市道㊦0109号線舗装補修工事L=400m 市道㊦2583号線道路改良工事L=382m		市道㊦0109号線舗装補修工事L=680m 市道㊦2583号線道路改良工事L=145m		【特記事項】	
財源内訳	国庫支出金	12,500,000	国庫支出金		国庫支出金	12,400,000		
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債	35,900,000	市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	35,453,500	一般財源	12,053,500	一般財源	92,600,000		
	計	47,953,500	計	47,953,500	計	105,000,000		
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	13	委託料	2,257,500	13	委託料	2,467,500		
	15	工事請負費	45,696,000	15	工事請負費	45,486,000		
	決算額計	47,953,500	決算額計	47,953,500	予算現額計	105,000,000		
(参考)	H21当初予算額		H22当初予算額	58,492,000	伸び率(%) 対・決	119.0	対・予	79.5 +
人件費	職員人件費	人工	職員人件費	1.3 人工	職員人件費	0.7 人工		5,632,900
総事業費	歳出+職員人件費	47,953,500	歳出+職員人件費	58,466,600	歳出+職員人件費			110,632,900

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	市道②0109号線舗装補修延長	m	舗装補修工事を施工した延長	目標	500	500	500
				実績	400	400	
成果指標	市道②2583号線整備延長	m	道路改良工事を施工した延長	目標	240	240	120
				実績	231	382	
成果指標	市道②0109号線進捗率	%	補修済延長／補修計画延長	目標	50	75	100
				実績	43.2	63.2	
成果指標	市道②2583号線進捗率	%	整備済延長／整備計画延長	目標	56.5	77.4	100
				実績	57.7	91	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

まちづくり交付金事業が今年度最終年度であり、当初計画路線の工事完了をしなければならない。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	市道②2583号線において用地未同意者の地権者がいるため、引き続き用地交渉を進めていく。
次年度における対応方策(改善方策)	平成19年度から平成23年度までの5カ年による事業であり、23年度が最終年度であることから、平成23年度市道②2583号線による工事施工が困難な場合には、24年度以降は市道整備事業の中で実施する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	山本 恵美 担当課名 道路整備課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input checked="" type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	市道②2583号線整備について、23年度工事施工ができなかった場合、通勤・通学者と地域住民の生活と安全確保のため、早期開通を目指し、市道整備事業により実施する。

二次評価【部長評価】

部長名	大川 博	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	整備延長	m	工事施工延長	目標	5450.0	4120.0	2235.0
				実績	4892.9	4388.9	
成果指標	年度内計画路線整備率	%	年度内整備延長／年度内計画延長	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	89.8	106.5	

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

道路整備は市民の日常生活において必要不可欠であり計画的な整備を進めるとともに、地元要望についても緊急性を考慮し整備を行う。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	厳しい財政状況中で、地元要望の路線について全てに対応できていない状況である。
次年度における対応方針(改善方針)	緊急性の高い路線を整備すると共に、簡易的な補修で済むものについては道路管理課等で対応する。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	各種補助事業の活用が肝要である。千代田地区に関しては、計画道路網の確立が重要となる。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	山本 恵美 担当課名 道路整備課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input checked="" type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	地域間の平準化を図りながら、緊急性のある路線を整備する。

二次評価【部長評価】

部長名	大川 博 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	整備延長	m	整備済延長	目標	289.5	539.5	780
				実績	210	275.7	
成果指標	整備率	%	整備済延長／計画延長	目標	37.1	69.2	100
				実績	26.9	35.4	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
今年度開通予定である。	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input checked="" type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方策

課題	今年度本線開通予定であり、24年度迂回路及び仮設橋梁の撤去・解体を予定している。
次年度における対応方策(改善方策)	計画に副った整備を進める。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	市道整備事業の中で、幹線道路整備として位置付し、歩道未整備区間の解消を図るなど計画実行する。

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	山本 恵美 担当課名 道路整備課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input checked="" type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	迂回路及び仮設橋梁お撤去・解体を予定する。

■二次評価【部長評価】

部長名	大川 博 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	協定書に基づいた負担金の支払い	千円	協定書に基づいた負担金の支払い	目標			106,000
				実績			
成果指標	負担率	%	負担額/負担金総額	目標			29.7
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

工事に着手していることから、年次的な負担金の支払いが必要である。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	負担金の財源に国補(社会資本整備総合交付金)を充てているが、今後も財源の確保が必要である。
次年度における対応方策(改善方策)	同補助事業で実施している工事との調整を図る。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	国の補助金が一括交付金への切り替えが行われた場合による柔軟な対応を検討しておく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	山本 恵美 担当課名 道路整備課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	補助金の要望額の満額確保に努めていく。

二次評価【部長評価】	
部長名	大川 博 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認